

多高通信

第174号 令和2年 1月30日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

みやぎのこども未来博

学びの術

12月14日、宮城県総合教育センターでみやぎのこども未来博「学びの術」が行われ、本校から科学部9名、普通科2年生3名の生徒が参加しました。

小学生、中学生及び高校生が、夏休みの自由研究や部活動、総合的な探究の時間などで取り組んだ様々な分野の研究や探究活動に対して、中間発表や成果発表の場を提供するとともに、大学教員等からのアドバイザーや小学生、中学生、高校生及び大学生の研究についての意見交換を通して、探究的な活動への取組を促進し、児童生徒の思考力、判断力、表現力等の向上を図るものです。

生徒の感想

私たちの研究で苦労したことは、実験と結果のまとめ方でした。私たちが行った実験は、ジェンガで五重塔のモデルを作成し、手で揺らす方法だったので、モデルを作成するときに五重塔と同じ構造を再現することが大変でした。また、結果をまとめるときに、静止画を採用したので、どの場合がどのくらいの影響を受けるかわかりにくくなってしまったと思います。

今日、みやぎのこども未来博に参加し他校の発表を聞き、普段学校では学べない研究の考え方や、他校の発表から私たちの発表の改善点を見つけ出すことができ、とても有意義な時間を過ごせたと思います。



す。これからは、他校から学んだ結果のまとめ方や実験方法の正確化などの改善点、研究方法を活かして、私たちの研究をより良いものにしたしたいと思います。

語学研究部

たがさぼのクリスマス雑貨市



12月22日、多賀城市民活動サポートセンターでたがさぼのクリスマス雑貨市2019が開催され、多賀城市国際交流協会の方々と一緒に語学研究部の生徒が参加しました。この企画は「雑貨」や「食」という気軽に来場しやすいテーマで開催し、地域活動に興味を持ってもらうものです。語学研究部は、夏に仙台育英学園高等学校の留学生に多賀城市内の津波痕跡や波高標識を案内しましたが、そのような活動を踏まえ、津波による被災からの復興に関連したフェアトレード商品の販売を行いました。また、フェアトレードに関するクイズを準備し、興味を持ってもらうことができました。売上金は多賀城市国際交流協会の方々と共に、台風19号で被災した松島町に寄付をすることにしています。

■2年2組 秋元 優那(高崎中出身)
今回クリスマス雑貨市に参加し、社会の多様性と、売り手と買い手がコミュニケーションをとる楽しさ、大切さを学びました。私たちは震災復興と発展途上国支援のフェアトレード商品を多賀城市国際交流協会の方々から販売しました。その時、耳の不自由なお客さんから「らっしやいませ」の手話を教わり、他の耳の不自由な方々に「らっしやいませ」が伝わると、音のない世界を身近に感じることができました。また、商品の特徴を実際に触れ、部員と会話して知った後お買い上げくださるお客さんがほとんどでした。私も他団体で商品にまつわる背景を聞き、応援しようと思ったものがあります。この様な経験で広めることができた見聞は、将来様々な人と関係を築く鍵となると思います。

科学部 全国総文祭最終選考会

12月25日、科学部の第2回生徒研修会兼全国高総文祭最終選考会が行われました。11月7日に開催された第72回宮城県高等学校生徒理科研究発表会において、物理・化学・生物・地学の4分野でそれぞれ表彰された上位2題、合計8題による口頭発表が行われました。本校科学部は生物部門で参加し、12分間の発表時間と4分間の質疑応答時間の中で、これまで継続研究してきた研究を披露しました。審査の結果、残念ながら全国大会への切符には僅差で届きませんでした。今回の体験をこれからの研究に活かしていきたいと思っています。

■2年1組 市川 一紀(利府西中出身)
昨年、これまで先輩達が果たせなかった最優秀賞を獲得し、今回の最終選考会に臨みました。発表前日のギリギリまで準備を行い、悔いを残さないよう努力しましたが、全国大会出場への機会を逃してしまう結果となってしまいました。審査員の先生からの講評で、私たちの研究に対して丁寧な研究かつ有益なものであるとお言葉を頂きました。他校の発表は、図表の活用やスライドの構成など、聴衆に分かりやすく伝えるための工夫が随所に見られ、今回初めて発表者側として参加した我々にとって貴重な経験となりました。



また、閉会式の後に、生物分野の審査員である宮城教育大学の小林恭士先生に、松枯れ研究の課題や発展について、長時間に渡りアドバイスをいただくことができました。ありがとうございました。

多賀城市八幡上二地区

津波波高標識設置活動

12月25日、多賀城市八幡上二地区において、津波波高標識設置活動を行いました。東日本大震災時に襲った津波の高さの痕跡を計測したり、住民から聞き取り調査を行ったりして、電柱などに津波波高を示す標識を設置するもので、電柱への新たな津波波高標識設置は約5年ぶりとなります。



当日は、八幡上二地区より区長さんを始め3名、多賀城市交通防災課より1名、本校防災委員生徒4名が参加しました。また、設置後は、区長さんから震災当時

のお話や地域住民への思いをお伺いすることができました。

八幡上二地区は国道45号線と臨海鉄道が交差する付近にあります。海に近いとは感じない町並みです。震災時には約2メートルの津波が押し寄せ、地域の半分近くが浸水し、家屋や店舗の被害だけでなく国道45号線を走っていた車も押し流されました。多くの住民が自宅を修理・再建し地域に残ったのですが、新しい住民も多く震災当時の地区の様子を知らない方も増えてきているそうです。区長さんは、東日本大震災の教訓や被害の記憶を何かの形で残したいと考え、本校で行っている津波波高標識を地区内に設置することで、地域に東日本大震災の記録を残したいと考えたそうです。

合唱部 多賀城市成人式出演

1月12日、多賀城市文化センターで開催された令和2年成人式で、吹奏楽部の協力を得ながら市民歌合唱と国歌斉唱を行いました。

人数が少なく音量に不安がありました。吹奏楽部の皆さんのサポートのおかげで素敵なハーモニーを会場に届けることができました。

来月の1日に仙台市広瀬文化センターにて開催される第31回宮城県合唱アンサンブルコンテストは、3年生が引退して初めての大会となります。3年生との練習の日々を思い起こしながら、これまでの練習の成果を思う存分発揮していきたいと思えます。応援、よろしくお願ひします！



■合唱部部长 矢口紗楓(2年6組 多賀城中出身)
成人式を迎えられた皆様、ご成人おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私たちは多賀城市の成人式で、吹奏楽部さんと共に市民歌と国歌の合唱をさせていただきました。今年度は外部講師の先生から指導を受けたり、練習期間を多く設けてより練習に力を入れて取り組んだので、昨年度よりも完成度の高い合唱ができたと思います。また、反省点も複数見つかったので、それらを次に生かし、より良い合唱を届けられるようにしたいです。